

### 図書館の時間延長等 利便性向上のための対策は

#### 新中央図書館と連携した機能を 創設したい

手塚 歳久議員 中央図書館の移転等により、利用しやすい市民は多いと思うが、現中央図書館周辺や西部地区の利用者は、今よりも遠くなり、不便になる。

そこで、図書館の時間延長などにより、利用者の利便性の向上を図る必要があると思う。

今後、地区図書館の時間延長等、具体的な対策を検討する考えはあるか。

生涯学習部長 新中央図書館は午後10時までの開館を予定しており、利用者の圏域はより広範になると考える。

また、地区図書館の時間延長は、施設管理等の面で厳しいものがある。

しかし、現中央図書館周辺の利用者には、身近な場所での図書資料の受渡しやインターネット予約など、新中



▲使いやすい図書館を目指して

#### ハート・プラスマークの普及のため ワッペン等を作成する考えは

#### 国や他市の動向を確認し 取り組んでいきたい

遠田 宗雄議員 内部障がい者は、外見からでは障がいがあるとは理解されずに、苦しむ人も多い。このため、内部障がい者自らが考案したハート・プラスマークが、車いすマークのように、広く理解されることや、そのための活動への支援が必要だと思う。

そこで、同マークの普及のため、啓発ポスターの掲示やマークのついたワッペン等の作成などを検討してはどうか。

また、市内には16か所のオストメイト用トイレがあるが、すべての市民に役立つバリアフリーマップ作成の考えは、福祉保健部長 啓発ポスターの掲示等は、効果的と考えるので、当事者の話を聞き検討したい。ワッペン等は、広域的な取組により効果的と考えるので、国や他市の動向等を確認し、取り組んでいきたい。

また、施設等のバリアフリー整備状況を掲載した福祉バリアフリーマップを、平成17年度作成に向けて準備している。



※ハート・プラスマーク

中央図書館と連携した機能を創設したい。また、高齢者等でも来館が困難な利用者にも、高いサービスを提供できるように配慮していきたい。

他市職員が地元優先採用について下水道料金の値下げについて

#### 入札制度 工事成績評定制度の認識は

#### 総合評定の成績を 業者選定等に反映していきたい

小山 有彦議員 市は、平成13年度に入札制度を見直したが、課題も残されている。

そこで、入札制度の今後の方針と見解を聞きたい。

#### 多摩川の水質改善 民間住宅への雨水浸透ますの設置 普及させたい

#### 下水道指定工事店を通じて 一層の協力を呼び掛けていく

村崎 啓二議員 市民が安心して、多摩川を憩いの場として親しむためには、水質改善など衛生上の安全性の確保が不可欠だと思う。

こうした中、雨天時に処理能力を超えた下水が多摩川に放流されるため、大腸菌群が基準値の5倍を超えることもありと聞く。

そこで、大腸菌群の基準値達成の方策について聞きたい。

また、多摩川の水質改善に向け、民間住宅への雨水浸透ますの設置は有効と思うが、その目標数及び数値達成に向けての市の考えは。

市長 一定の成果があったと評価している。今後とも地元企業の育成等にも配慮し、一層の適正化に努めていきたい。

議員 工事完了検査評定と成績評定が、次の入札に反映される流れを作るべきと考える。

そこで、市の工事成績評定制度の認識は。また、同評定を業者に事後通知する考えは。

総務部長 本市では、工事完了検査成績評定基準により評定を行っているが、よりきめ細い評定をするために、工事成績評定基準検討委員会を設置し、検討を始めた。

今後は、工事施工成績評定書と工事完了検査評定書との総合評定の成績が、適切に業者選定等に反映できるように、同委員会でも検討したい。

評定結果の通知は、今後は実施する方向で考えている。

他府中市の施設使用料について

### 学校の耐震化 整備計画の策定予定は

#### 耐震診断結果を踏まえ 18年度予算に反映したい

奈良崎 久和議員 災害に強いまちづくりに向け、公共施設、なかでも教育施設・学校の持つ機能と役割は大きく、今後も、重要な防災拠点として、学校の整備充実を図っていく必要があると考える。

そこで、学校の耐震診断の状況と、耐震改修・改築の整備計画策定の考え及び今後の予定について聞きたい。

教育長 体育館は、災害時の一次避難場所として位置付けられていることから、耐震化を優先して進め、平成16年度に、単体で設置されている全

水を地下に浸透させることで改善効果が見られる。

民間住宅への設置目標数は、年平均1000基であり、今後も、下水道指定工事店を通じて、目標の達成に向け、一層の協力を呼び掛けていく。

他けやき並木歩道の安全対策について一歩行者と自転車通行区分の分離など



▲多摩川の水辺にて



▲改築の進む府中第三中学校

校の体育館の耐震補強を完了した。校舎は、15年度から17年度の3か年計画で耐震診断を進め、17年度で全校の診断が終了する予定である。

今後は、17年度の早い時期での計画策定を目指し、18年度予算に反映していきたい。

他府中市での「クール・ビズ」(ノーネクタイ、ノー上着)の導入推進について一環境対策のため軽装を

#### 災害時における 外国籍住民への対応は

#### 国際交流サロンの通訳者に 協力を働き掛けたい

稲津 憲護議員 阪神・淡路大震災の際、言葉や習慣等の違いから、日本人とは異なる困難に直面した外国人被災者が数多くいた。

本市では、4000人以上の外国籍の人が住んでおり、今後、発生が予測される災害

について、その対策をしっかりと講じるべきものと考えます。

そこで、災害時における外国籍の住民への対応について、市の考えを聞きたい。

環境安全部長 現在、財団法人消防科学センターが作成した防災ハンドブックを配布しており、今後は、防災講座の実施も検討している。

また、災害時には、国際交流サロンで活動しているボランティアの通訳者にご協力をお願いしたい。このため、防災ボランティアの一員として、社会福祉協議会に登録し、対応していただけるように、通訳者に働き掛けたい。

他地域デイサービスの現状と今後の展望について